

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週火曜日・15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「からだ」を通して空間の理解（ぼくとわたしの体）を促す 水あそびをすることで、衣服の着脱を行い、着替え、片付けが自分できるように促す。また着替えることで、頭を服に入れて、出す、肘を曲げて腕を通す、立位でズボンに足を入れて、ズボンを両手で持って引き上げるなど、体を使うことで空間認知を育む。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	夏の生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする 登園後の手洗い、荷物をロッカーに入れる、おやつ準備、片付け、排泄の手順などわかり、見通しをもって行動できるように視覚支援、スケジュールを用意する ・おちゃをのむ・汗をふく・帽子をかぶる・汚れを石鹸でおとす
	運動・感覚	身近な動物の動きを体で表現したりすることを楽しむ ゴムくぐり（跳ぶ、かがむ、這う、潜る、くぐる） 走る、寝転ぶ、立ち上がる、回る、起きるなど 鉄棒（ぶら下がる）、マット（転がる）、台車（引っ張る） 10秒ポーズ ・ふらみんご（片足だち）・キリン（つま先立ち）・カメ（腹臥位で足を手で持つ） ・カニなど
	認知・行動	体に興味をもち体の名称を知る 音楽療法、巧技台、パラシュートを使ってあそび、頭、おなか、背中、腕、手、脚、歩く、座る、立つ、眉毛、目、鼻、口など意識してあそびを楽しむ 水に触れてあそぶ ・きんぎょすくいをする・ぞうさんのジョー口で、足や頭から水をかけたりしてあそぶ。 濡れた衣服の着脱を行うことで体を意識する →「ぬぐ」「しぼる」「たたむ」の着脱での行為を知る。 ワークシステム、机上課題に取り組む ・課題をしたら片付け、次の課題を自分で取って行うなど一連の課題の取り組み手順がわかるようにする。
	言語 コミュニケーション	からだの各部位の名前や働きを知る ・「目でみる」「耳で聞く」「手をふる」「手をたたく」「頭をなでる」 また「座る」「立つ」「じっと立つ」などがわかるあそびを取り入れていく。 ・箱、袋などに手を入れて、何が入っているか当てるゲームを行い、言葉での表現を促していく。
	人間関係 社会性	友だちとかかわることを喜ぶ （はないちもんめ、だるまさんがころんだ、ハンカチ落としなど）水あそびを、友だちや担任と一緒に楽しむ。 ・ルールのあるあそびを保育者や友だちと一緒に楽しむ。 （いす座りゲーム、だるまさんがころんだなど） 洗濯ごっこを楽しむ せんたくばさみで→「ほす」 洗濯機で→「あらう」 食器を→「あらう」
歌・絵本など		絵本 「だるまさんが」「できるかな」「てのひらおんどけい」 歌絵本 「できるかな」「なつのしりとりのうた」 わらべうた 「ももや」 音楽療法 「げんきにげんきに」「くるっくるっ」など
地域支援・地域連携 （地域交流・園外活動）		地域の花の水やり 地藏盆など
移行支援		通園している保育園との連携、情報共有を行う
家族支援		ホームページにて写真公開 8月中旬予定
職員の質の向上		○ アタッチメント研修 ○ あそびとまなび保育・教育研究会 8/23(土)インクルーシブ保育「ともに遊び、ともに学ぶー実践より考える」 8/30(土)「環境によって保育がかわる2」
主な行事等		